



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月6日

上場会社名 福山通運株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9075 URL http://www.fukutsu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小丸 成洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理・財務担当 (氏名) 桑本 聡 TEL 084-924-2000  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	192,644	0.3	9,408	△11.1	10,752	△10.2	8,121	△2.8
28年3月期第3四半期	191,993	0.0	10,578	3.0	11,977	7.5	8,359	19.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 11,047百万円 (23.7%) 28年3月期第3四半期 8,929百万円 (△23.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	33.10	31.30
28年3月期第3四半期	34.07	31.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	422,898	228,419	53.4	915.67
28年3月期	404,787	220,322	53.9	879.47

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 225,636百万円 28年3月期 218,239百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	254,600	0.0	11,300	△14.0	12,400	△16.4	9,100	△8.3	37.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	278,851,815株	28年3月期	278,851,815株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	32,434,451株	28年3月期	30,702,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	245,393,287株	28年3月期3Q	245,322,593株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復を続け個人消費も持ち直してまいりましたが、設備投資は企業収益の悪化もあり、停滞感が漂うなど依然として先行き不透明な状況で推移してまいりました。

貨物自動車運送業界におきましては、このような経済情勢を反映し、国内貨物輸送量は低水準に留まり、一方、慢性的なドライバー不足からくる長時間労働の抑制と安全・安心を確保する取り組みなど喫緊の課題が山積し、厳しい経営環境を強いられてまいりました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、IT (Information Technology) の見直しなどによる業務の効率化を図り、生産性とサービス品質の向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は1,926億44百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は94億8百万円（前年同四半期比11.1%減）、経常利益は107億52百万円（前年同四半期比10.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は81億21百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

これらをセグメント別に見た事業の概況は次のとおりであります。

運送事業におきましては、国内輸送ネットワーク網の拡充、整備の一貫として、12月に大分県下4番目となる佐伯営業所を開設し、輸送サービスの強化を図るとともに、主力の商業小口荷物分野へより注力するため、取扱い荷物の選別を強化し、運賃・料金改定を積極的に行ってまいりましたが、増加するコストを吸収するには至りませんでした。

以上の結果、売上高は1,692億85百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業利益は91億57百万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。

流通加工事業におきましては、顧客構造の見直しを図り、合わせて全国輸送ネットワーク網の強みを活かした新規顧客の掘り起こしにも注力してまいりました。

以上の結果、売上高は86億95百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は4億20百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

国際事業におきましては、通関取扱い件数は急速に持ち直してまいりましたが、海上フォワーディング事業は景気低迷に伴う同業者間競争の激化もあり、収益力は大幅に低下してまいりました。

以上の結果、売上高は47億16百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は2億30百万円（前年同四半期比35.4%減）となりました。

その他事業におきましては、賃貸施設の減少や商品販売収入の低迷など総じて低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は99億47百万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益は26億89百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて181億10百万円増加し4,228億98百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したことにより流動資産が13億21百万円増加したことや、建設仮勘定が増加したことなどにより固定資産が167億89百万円増加したことによります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて100億13百万円増加し1,944億79百万円となりました。これは主に、未払法人税等や1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が減少した反面、1年内返済予定の長期借入金や未払消費税等の増加により流動負債が92億30百万円増加したことや、繰延税金負債が増加したことにより固定負債が7億83百万円増加したことによります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて80億97百万円増加し2,284億19百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加やその他有価証券評価差額金が増加したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月8日の「平成29年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、国際事業の新たな海外子会社としてE.H.Utara Holdings Sdn. Bhd. の株式を取得したことによりE.H.Utara Holdings Sdn. Bhd.、UFA Utara Forwarding Agency Sdn. Bhd.、Chalim Warehouse Sdn. Bhd. 及びE.H.Utara (Thailand) Co., Ltd. を連結の範囲に含めております。また、福通パーセルサービス株式会社は平成28年6月1日付けで業務の効率化を図るため大蔵運輸産業株式会社と合併し、商号を福山パーセルサービス株式会社に変更しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,660	21,665
受取手形及び売掛金	33,990	38,866
繰延税金資産	1,984	621
その他	5,185	4,018
貸倒引当金	△62	△91
流動資産合計	63,758	65,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	216,587	217,590
減価償却累計額	△140,466	△143,768
建物及び構築物 (純額)	76,120	73,821
機械装置及び運搬具	70,447	76,377
減価償却累計額	△56,682	△61,575
機械装置及び運搬具 (純額)	13,765	14,801
工具、器具及び備品	13,229	13,421
減価償却累計額	△10,761	△11,184
工具、器具及び備品 (純額)	2,468	2,237
土地	189,541	191,174
建設仮勘定	11,048	23,729
有形固定資産合計	292,943	305,764
無形固定資産		
その他	5,314	5,125
無形固定資産合計	5,314	5,125
投資その他の資産		
投資有価証券	37,262	41,406
繰延税金資産	1,931	2,042
その他	4,254	4,150
貸倒引当金	△675	△670
投資その他の資産合計	42,772	46,928
固定資産合計	341,029	357,818
資産合計	404,787	422,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,888	16,948
短期借入金	10,400	10,624
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	11,320	7,390
1年内返済予定の長期借入金	13,101	20,660
未払法人税等	2,985	939
未払消費税等	1,537	2,924
繰延税金負債	14	3
賞与引当金	3,063	1,260
再開発費用引当金	1,866	—
資産除去債務	51	—
その他	11,890	20,598
流動負債合計	72,120	81,351
固定負債		
長期借入金	58,679	57,459
繰延税金負債	7,466	8,975
再評価に係る繰延税金負債	23,689	23,688
退職給付に係る負債	20,837	21,408
資産除去債務	483	487
その他	1,188	1,108
固定負債合計	112,344	113,128
負債合計	184,465	194,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	38,515	38,782
利益剰余金	117,435	123,092
自己株式	△14,327	△16,079
株主資本合計	171,934	176,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,077	16,195
土地再評価差額金	34,399	34,396
為替換算調整勘定	96	△87
退職給付に係る調整累計額	△1,269	△974
その他の包括利益累計額合計	46,304	49,530
非支配株主持分	2,083	2,782
純資産合計	220,322	228,419
負債純資産合計	404,787	422,898

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	191,993	192,644
売上原価	176,119	177,202
売上総利益	15,873	15,442
販売費及び一般管理費	5,295	6,034
営業利益	10,578	9,408
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	929	912
過年度備車費戻入益	603	—
その他	819	782
営業外収益合計	2,354	1,697
営業外費用		
支払利息	209	218
貸倒引当金繰入額	637	—
その他	108	134
営業外費用合計	955	353
経常利益	11,977	10,752
特別利益		
固定資産売却益	13	238
投資有価証券売却益	661	1,244
債務保証損失引当金戻入額	5	—
特別利益合計	680	1,482
特別損失		
固定資産除却損	57	149
減損損失	39	23
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	97	173
税金等調整前四半期純利益	12,560	12,061
法人税、住民税及び事業税	3,454	2,734
法人税等調整額	571	989
法人税等合計	4,026	3,723
四半期純利益	8,534	8,338
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,359	8,121
非支配株主に帰属する四半期純利益	175	216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	3,123
為替換算調整勘定	△4	△243
退職給付に係る調整額	179	△171
その他の包括利益合計	395	2,708
四半期包括利益	8,929	11,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,750	10,885
非支配株主に係る四半期包括利益	179	162



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	168,634	8,673	4,536	181,844	10,148	191,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	6,265	6,265
計	168,634	8,673	4,536	181,844	16,414	198,259
セグメント利益	10,213	359	356	10,930	2,573	13,504

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,930
「その他」の区分の利益	2,573
全社費用(注)	△2,925
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	10,578

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。

なお、報告セグメント以外の減損損失の計上額は39百万円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	169,285	8,695	4,716	182,697	9,947	192,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	6,091	6,091
計	169,285	8,695	4,716	182,697	16,038	198,736
セグメント利益	9,157	420	230	9,808	2,689	12,498

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,808
「その他」の区分の利益	2,689
全社費用(注)	△3,089
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	9,408

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。

なお、報告セグメント以外の減損損失の計上額は23百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「国際事業」セグメントにおいて、E.H.Utara Holdings Sdn.Bhd.の株式を取得し、E.H.Utara Holdings Sdn.Bhd.、UFA Utara Forwarding Agency Sdn.Bhd.、Chalim Warehouse Sdn.Bhd.及びE.H.Utara (Thailand) Co.,Ltd.を当社の連結子会社としたことにより、のれんを539百万円計上いたしました。